

2026年3月期 決算説明

株式会社 **バッファロー**

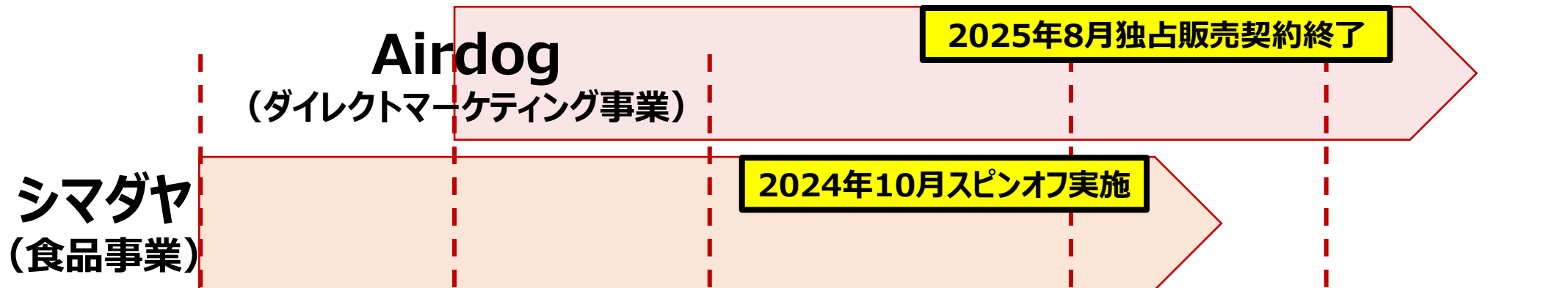
証券コード：6676（東証スタンダード、名証プレミア）

2026年5月14日

1	エグゼクティブサマリー	P.3
2	決算概要	P.4
3	成長戦略	P.12
4	資本政策	P.20
5	参考資料	P.28

本資料における前提

- Airdogシリーズの独占販売契約を2025年8月29日をもって終了しております。
- シマダヤのスピノフ、Airdogシリーズの終了に伴い、今後の継続事業を下表のとおり定義しております。



継続事業 (PC周辺機器)

2019年3月期

2020年3月期

2025年3月期

2026年3月期

2027年3月期

商品分野	主な構成内容
ネットワーク機器	● Wi-Fi ● ルーター ● ハブ ● LANアダプター
メモリ・ストレージ機器	● HDD ● NAS ● DVDドライブ ● SSD ● USBメモリー ● メモリー ● メディア
その他周辺機器	● マウス ● キーボード ● Webカメラ ● ケーブル
関連サービス	● データ復旧/消去サービス ● ネットワーク施工
卸売品	● CPU ● グラフィックボード ● その他パーツ

Value Chain Engineering 活動

※「継続事業」「Airdog」「食品事業」の分類は管理上のものです（監査対象外）。

エグゼクティブサマリー

1

2026年3月期
業績

- 継続事業は、売上高、営業利益共に「稼ぐ水準」に回帰
- 適正な価格設定により販売単価が上昇
- ISO9001認証取得と継続的な実践により確立された「エンジニアリング・サイクル」を活かした当社独自の原価低減活動により収益性が向上
- 為替が想定より円高に推移し、利益面で追い風となった

2

今後の取組み

1. 成長戦略
 - 当社の強みである「エンジニアリング・サイクル」を活かしたValue Chain Engineering活動を推進
2. 資本政策
 - 経営指標として、連結ROE15%以上を目標
(2026年3月期実績18.3%)

決算概要

2026年3月期 連結業績概要（全体）

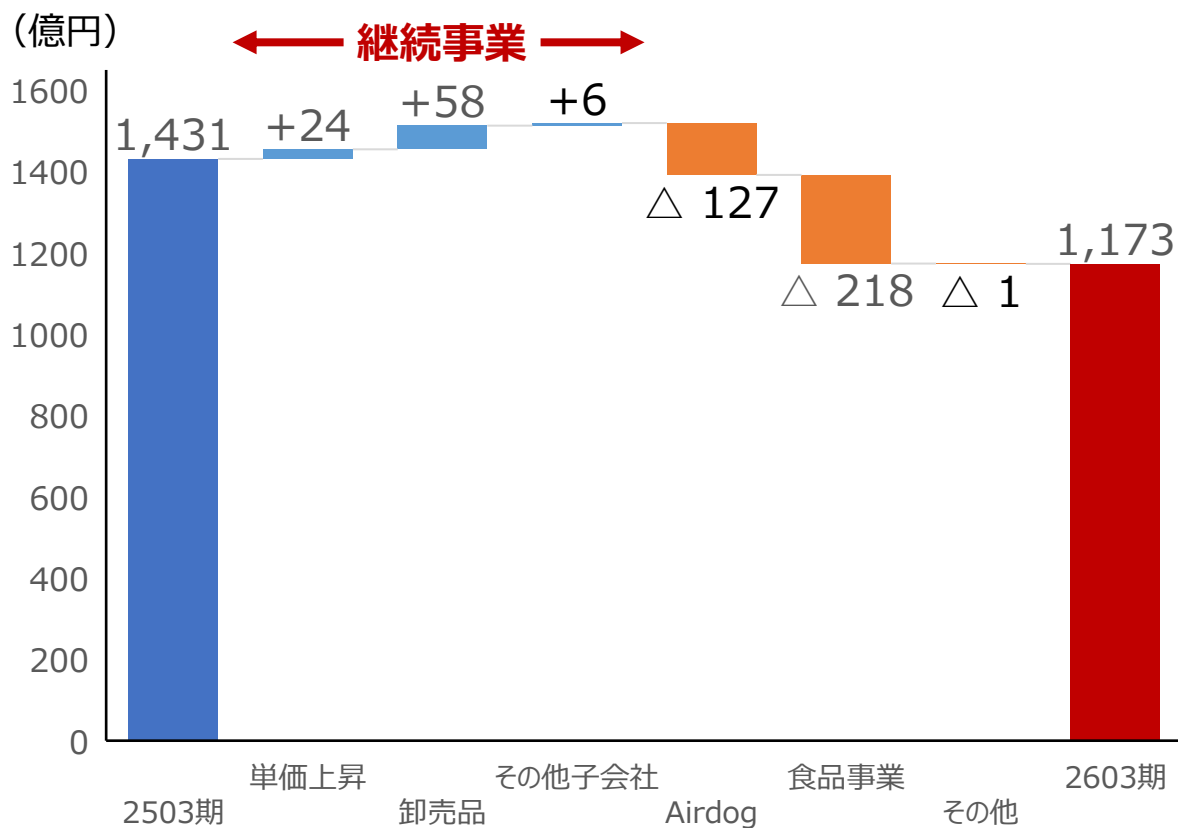
単位：億円	2025年3月期	2026年3月期	
	通期実績	通期実績	前年同期比増減率
売上高	1,431	1,173	△18.0%
継続事業	975	1,064	9.1%
Airdogシリーズ等	235	108	△53.8%
食品事業	218	—	—
営業利益	88	92	4.4%
継続事業	8	66	655.0%
Airdogシリーズ等	53	26	△50.9%
食品事業	26	—	—
経常利益	90	102	13.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	60	80	34.4%

※億円未満は切り捨てて表示しております。

2026年3月期 連結業績増減要因 (全体)

連結売上高

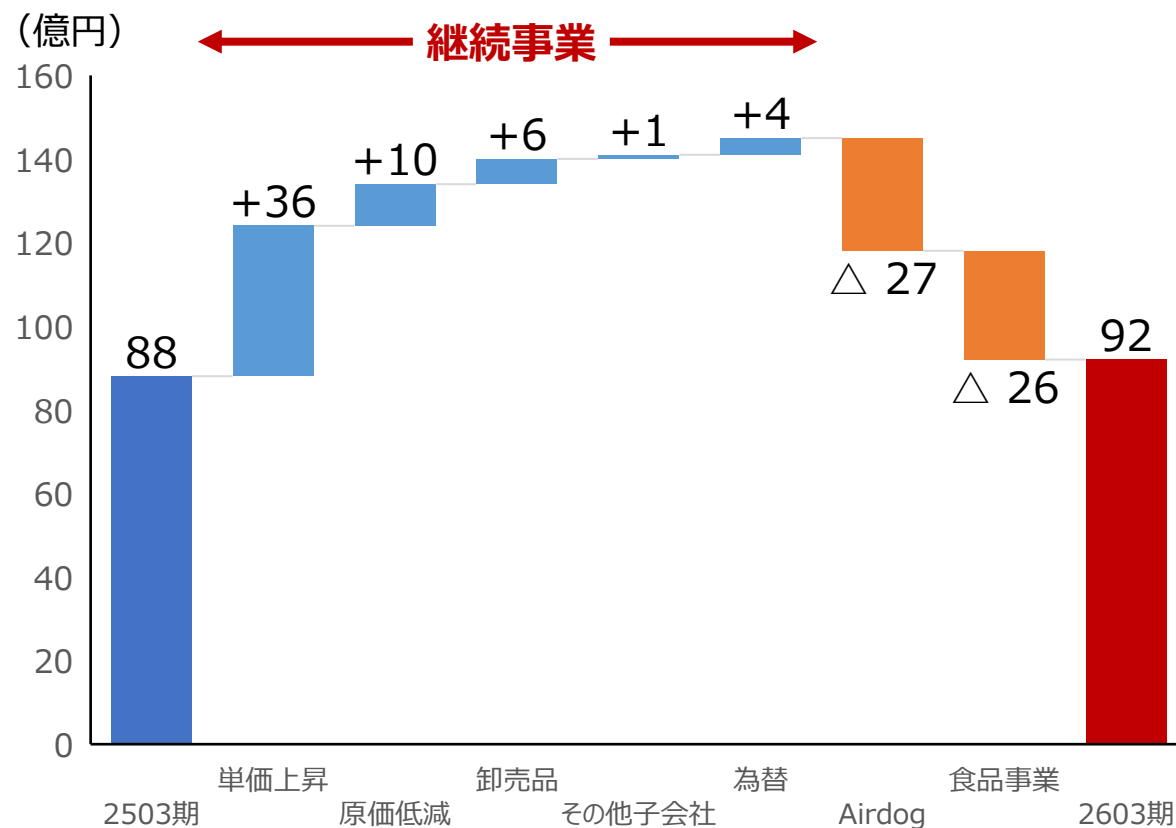
- PC周辺機器での適正な価格設定による販売単価上昇
- 卸売品の市況好調、および販売単価上昇



※億円未満は切り捨てて表示しております。

連結営業利益

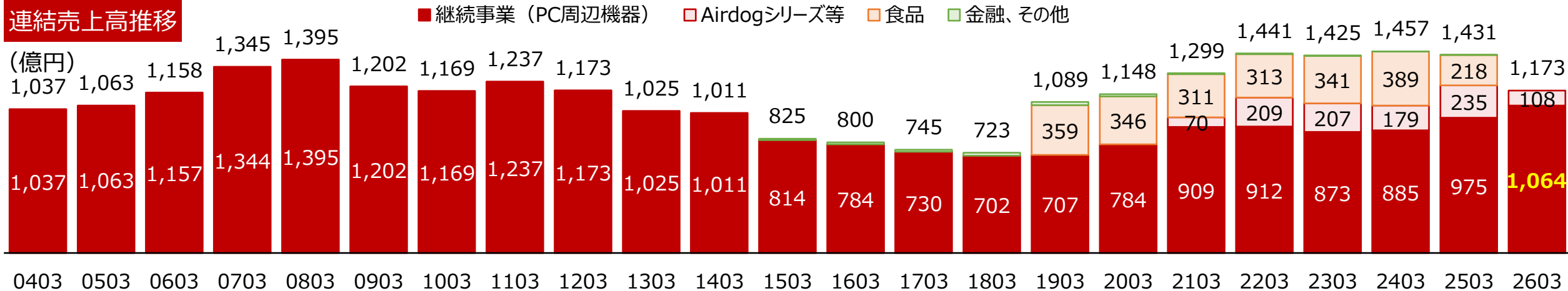
- 周辺機器での適正な価格設定による販売単価上昇
- エンジニアリング・サイクルを活かした当社独自の原価低減活動
- 為替が想定より円高に推移し、利益面で追い風



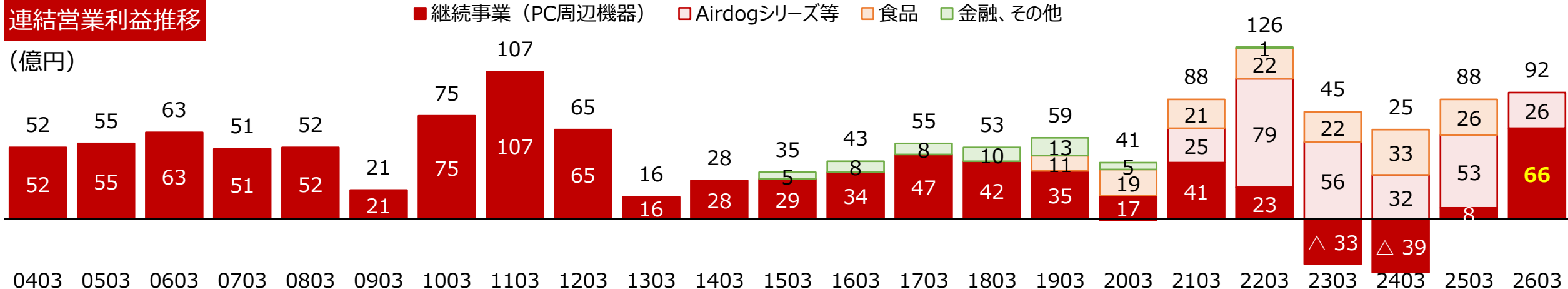
継続事業の業績推移

継続事業は安定供給で市場環境を整え、単価向上によりV字回復
売上高、営業利益共に「稼ぐ水準」に回帰

連結売上高推移



連結営業利益推移



※億円未満は切り捨てて表示しております。

※2025年4月1日に実施した吸収合併により純粋持株会社から事業会社へ移行したことに伴い、2026年3月期より表示方法の変更を行っており、2025年3月期以前の売上高、営業利益は当該表示方法の変更を反映した組替後の数値を記載しております。

商品分野別2026年3月期売上高実績

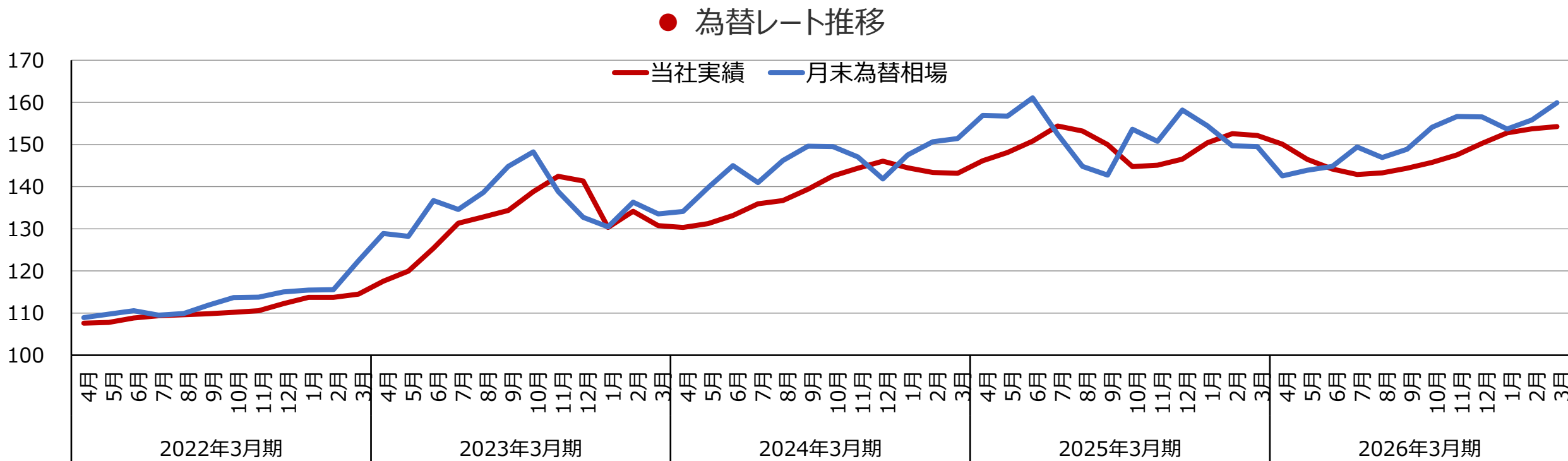
商品分野	2026年3月期 売上高（億円）	前年同期比	業績概要
ネットワーク機器	254	109.1%	<ul style="list-style-type: none">● 適正な価格設定により販売単価が上昇し、概ねシェア維持により売上増● 企業DXを支援する一環としてネットワーク機器やNASの拡販に注力し、法人案件の獲得増
メモリ・ストレージ機器	389	100.8%	
その他周辺機器	55	107.5%	
関連サービス	35	111.4%	<ul style="list-style-type: none">● データ復旧/消去サービス、法人ネットワーク施工の案件獲得により堅調に推移
卸売品	328	120.9%	<ul style="list-style-type: none">● パソコンの需要増に伴いAMD社製CPU「RYZEN」やグラフィックボードなどが堅調に推移
その他	108	46.2%	<ul style="list-style-type: none">● Airdogシリーズの独占販売契約を2025年8月29日を以って終了したため減収

※億円未満は切り捨てて表示しております。

※AMD、Ryzen 及びこれらの組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。

為替レート

方針	為替予約はレートの急激な変動を緩和する目的とし、長期為替予約はしない
2026年3月期 想定	為替レート 上期150.00円、下期155.00円
2026年3月期 実績	為替レート 148.17円
為替感応度	1円の円高になった場合、営業利益 + 約 3 億円/年



2027年3月期 連結業績予想

- 継続事業の売上高は、安定供給・適正な価格設定等により前期を上回る計画
- 営業利益は、為替の追い風や一時的な利益押上げ要因を織り込まない実力値で計画

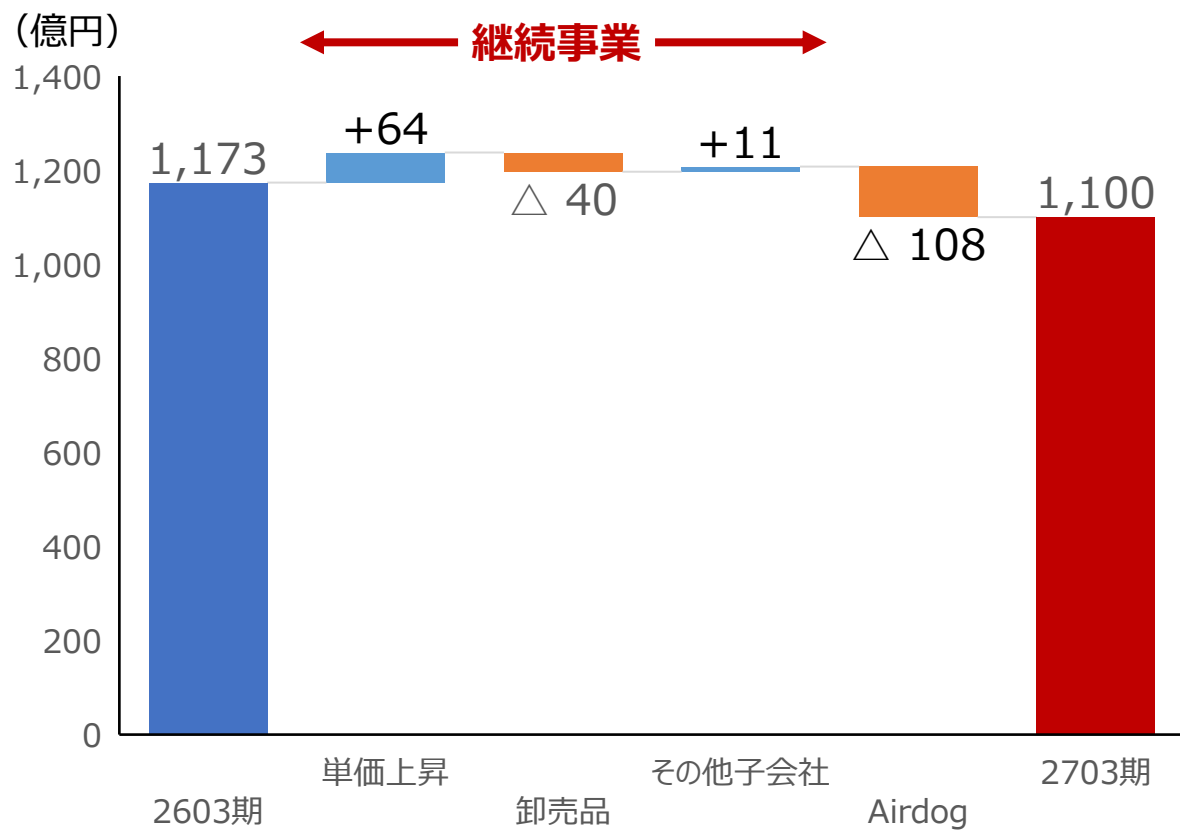
単位：億円	2026年3月期	2027年3月期	
	通期実績	通期予想	前年同期比増減率
売上高	1,173	1,100	△6.2%
継続事業	1,064	1,100	3.4%
Airdogシリーズ等	108	—	—
営業利益	92	62	△32.8%
継続事業	66	62	△6.2%
Airdogシリーズ等	26	—	—
経常利益	102	62	△39.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	80	45	△44.2%

※億円未満は切り捨てて表示しております。

2027年3月期 連結業績予想 前期一時要因を除いた実力値で計画

連結売上高予想

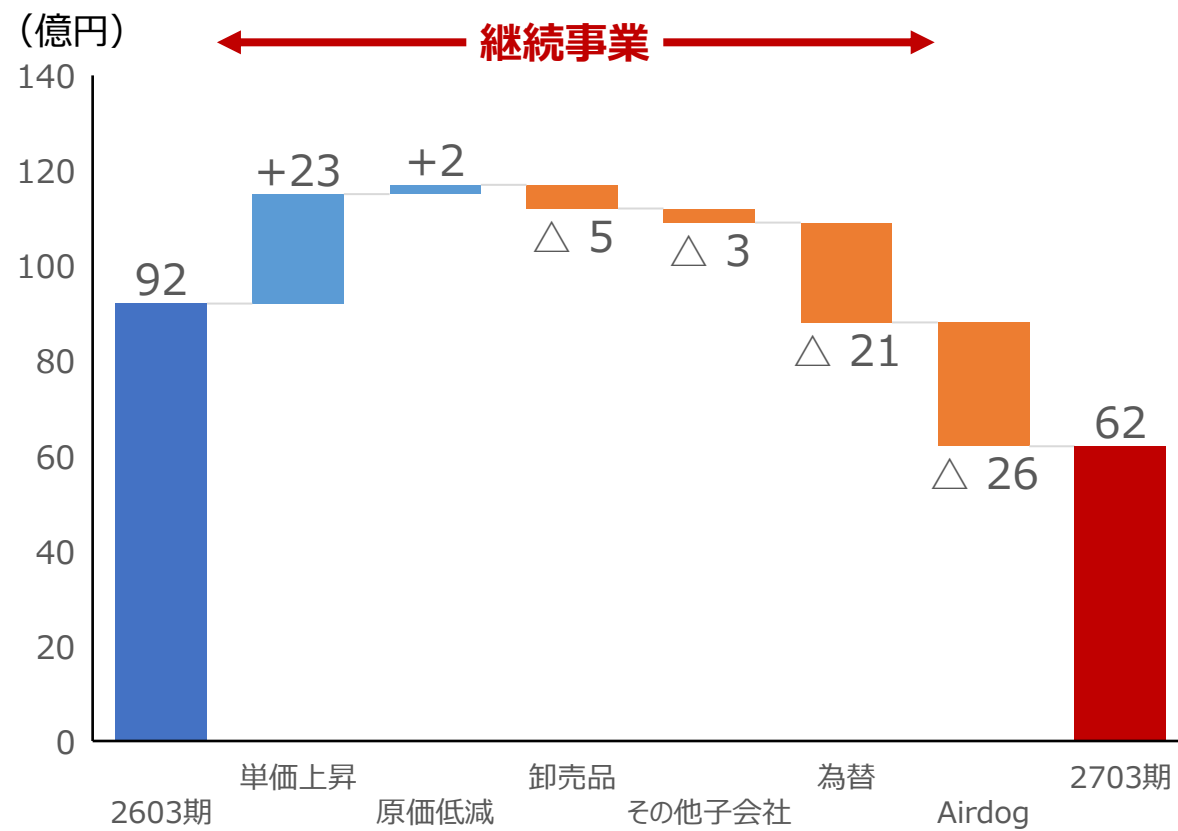
- PC周辺機器での適正な価格設定を継続、単価上昇
- 卸売品は前期需要増の反動を想定



※億円未満は切り捨てて表示しております。

連結営業利益予想

- PC周辺機器での適正な価格設定を継続、単価上昇
- 当社独自の原価低減活動を継続
- 為替は円安（155円想定）で逆風
- 卸売品は前期需要増の反動を想定



成長戦略

IT業界を取り巻く環境は変化している

当社は変化に適応し、**持続的な成長とステークホルダーへの分配**を目指す

政治

経済安全保障の要請

経済

デフレからインフレへ

BUFFALOTM
Value Chain Engineering

社会

人手不足の深刻化

技術

AIの社会実装進行

パソコンの技術要素からみた当社の継続事業の領域

価値を届けるために必要だが、他社が後回しにする領域 ≡ 「**退屈な領域**」

当社の継続事業（PC周辺機器）は、この「**退屈な領域**」でビジネスを展開

ハードウェア

 計算:CPU/GPU

➤花形

CFD：代理店事業で収益化

 保存:メモリ/ストレージ

バッファロー：部材仕入と販売寡占化

 通信:ネットワーク

バッファロー：国際原価競争力の確保

ソフトウェア

 アプリケーション

➤多産多死

 ミドルウェア

デジオン：マルチメディアや通信のミドルウェア開発力

 OS

➤大規模開発が必要
➤花形

 ファームウェア

バッファロー：ファームウェア内製化、深刻化するサイバー攻撃に対応する開発力

周辺サービス

 データ復旧・消去

アドバンスデザイン：ハイパースケーラーへ展開

 ネットワーク設置施工

バッファローITS：大手オペレータ、専門SIからの業務受託

 開発受託

バイオス：ニッチ案件開発受託


 BTO組立

CFD、協力工場

 保守メンテナンス

各グループ会社

製造・量産

 フルパッケージ
(完全な外部委託)

 国内EMS
協力工場
ファームウェア書き込み、
需要に即応した製造

継続事業の領域で目指すポジション



ヒト・モノ・カネが集中する
「エキサイティングな領域」

CPU開発競争
OS/アプリの栄枯盛衰
派手なWebサービス

他社が後回しにする領域

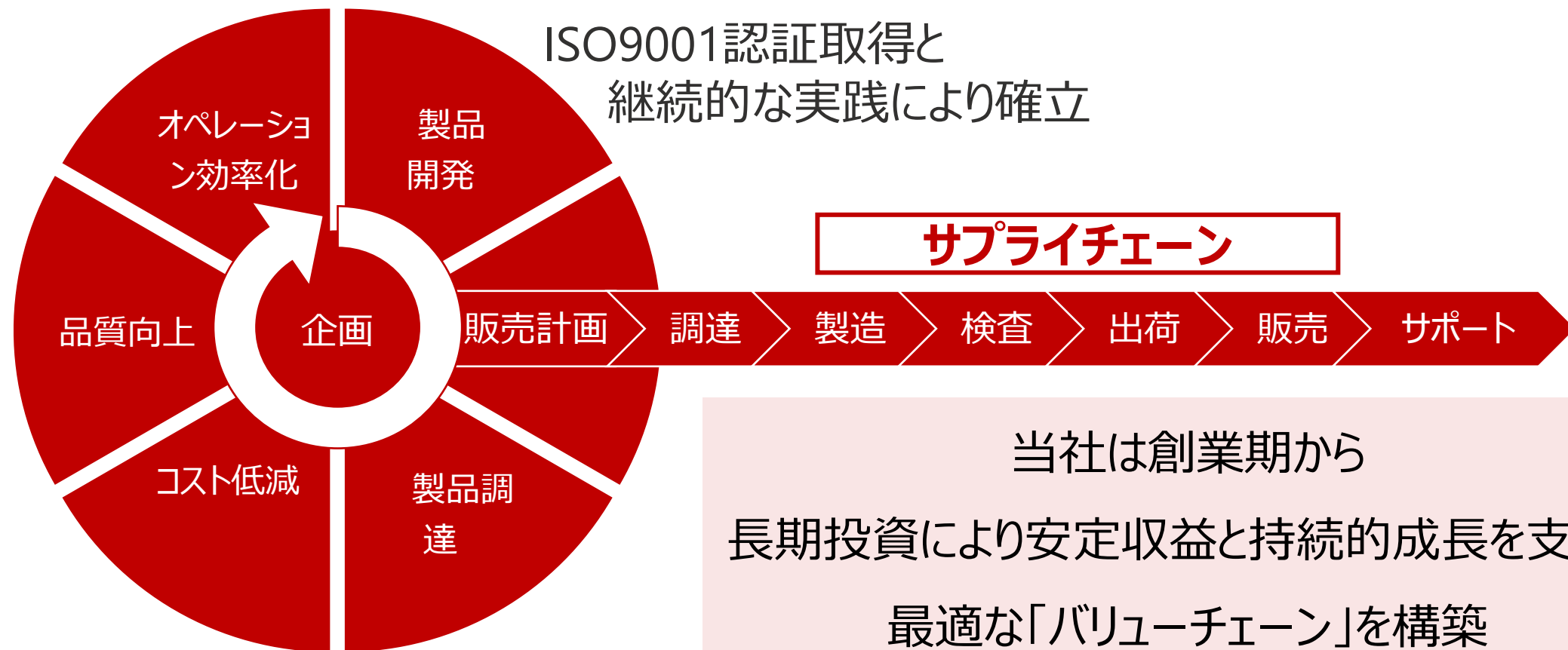
「退屈な領域」

**IT業界の「退屈」を
一手に引き受ける**

当社の強み

「退屈な領域」に向き合い続けて、深化させた「エンジニアリング・サイクル」が当社の強み
開発からオペレーション効率化まで自ら実行・改善できることが、持続的競争優位となる

エンジニアリング・サイクル



当社は創業期から
長期投資により安定収益と持続的成長を支える
最適な「バリューチェーン」を構築

VCE : リーディングエッジ企業との「共創」

当社の強み「エンジニアリング・サイクル」をリーディングエッジ企業に提供し
「退屈な領域」を当社と「共創」 = **Value Chain Engineering (VCE)**

バッファロー

継続事業の延長線上で新たな収益機会を拡大



リーディングエッジ企業

自社の競争領域に経営資源を集中できるメリット

パートナーから選ばれ続ける環境を作り（事業戦略「ニッチ構築」）

IT業界の「退屈」を独占する

VCE : 2026年3月期の取組み実績

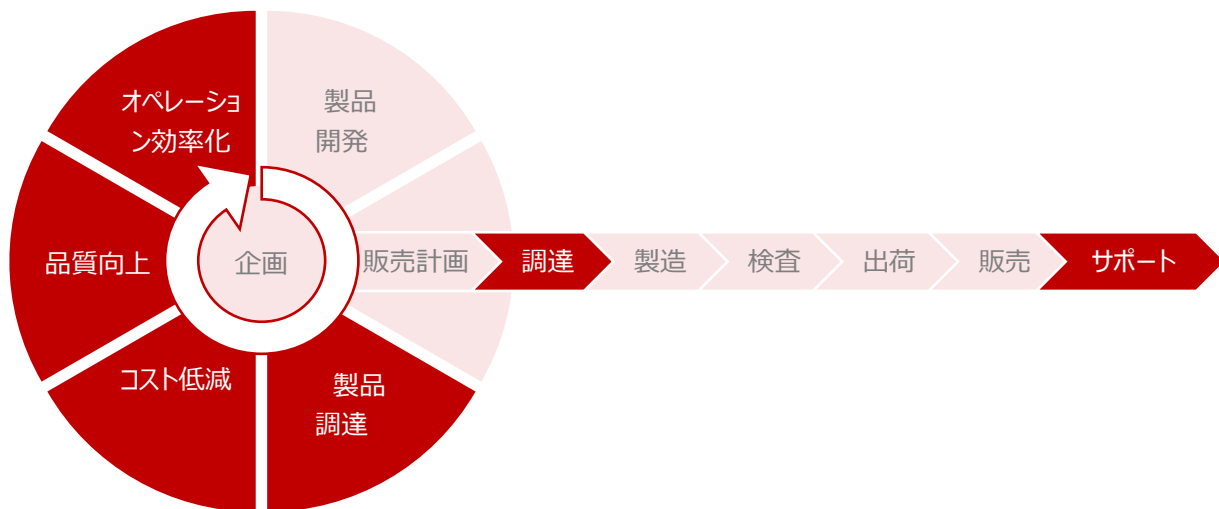
2026年3月期は、VCEの取組みが着実に進展

今後は、既存案件の深耕に加え、M&Aも視野に入れながらVCEの展開を拡大

(株) セキュア様

HDD等の共同購買による
安定供給の実現

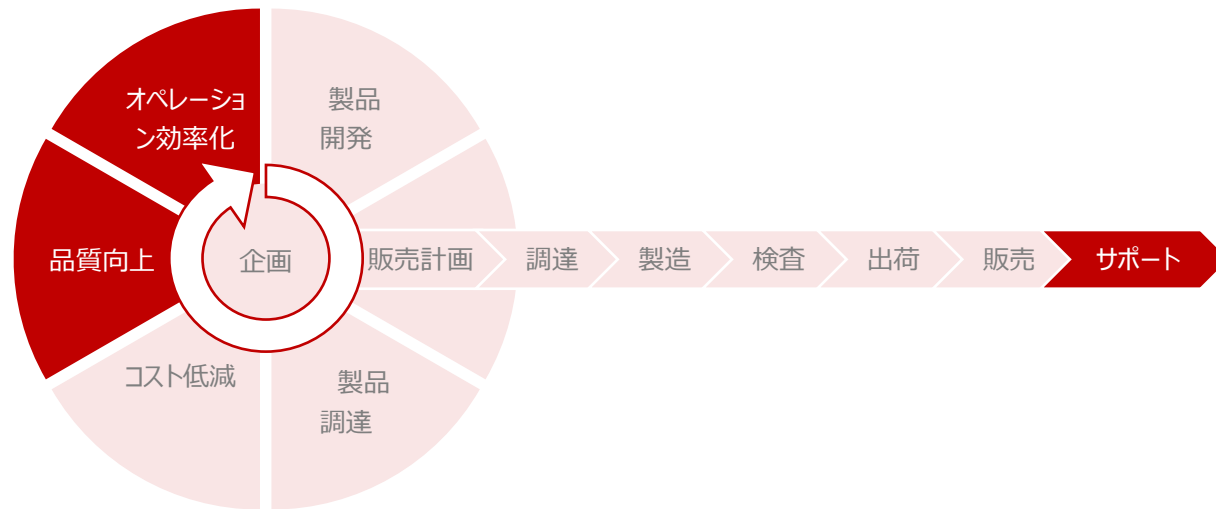
- バッファローが保持する調達力により、調達環境が厳しい状況でも安定供給を実現



(株) ビットキー様

スマートロック等の普及に不可欠な導入支援
(設置施工・保守業務)

- 事業の拡大に必須の設置施工を請け負い、事業拡大に寄与



これまでの継続事業とVCEの領域

継続事業の収益安定化を基盤に、新たな収益機会を拡大

商品分野	これまでの継続事業	VCE他	
メモリ・ストレージ機器	バッファロー バイオス	<div data-bbox="1735 361 2397 425" style="border: 1px solid red; padding: 2px; text-align: center;">来期以降拡大が見込まれる領域</div> <ul style="list-style-type: none"> ●(株)セキュアとの資本業務提携 ●(株)ビットキーとの資本業務提携 ●ネットワークビデオレコーダの受託開発 ●公共案件で「イナリス」が採択 	
ネットワーク機器			今期収益力が回復した領域
その他周辺機器			今期大きく躍進した領域
卸売品	シー・エフ・デー販売		
関連サービス	アドバンスデザイン（データ復旧・消去） バッファローITS（ネットワーク施工） デジオン（ミドルウェア）		
その他			

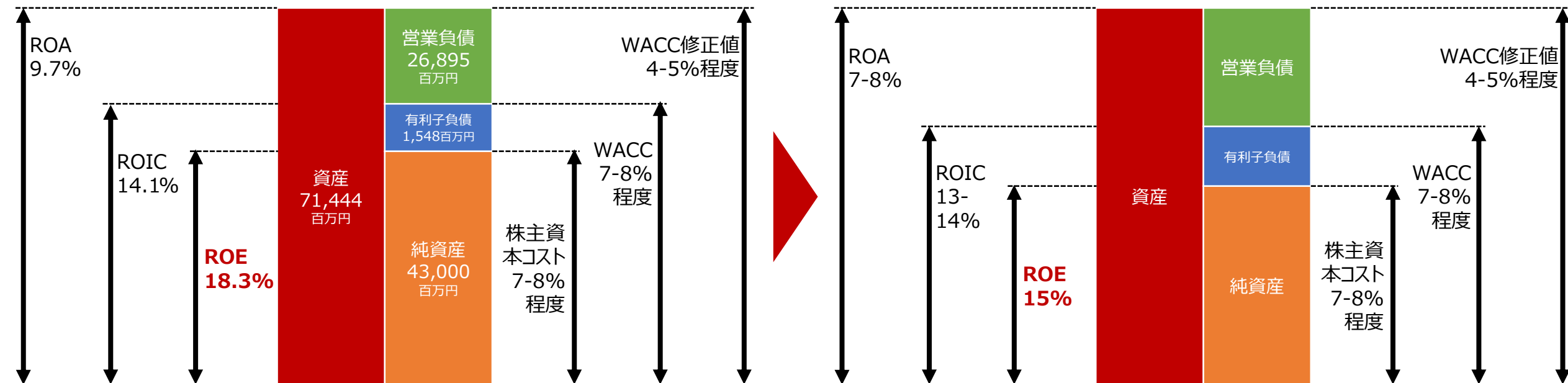
資本政策

連結ROE15%以上を目標

資本コストや株価を意識した経営の推進

2026年3月期実績

2027年3月期以降

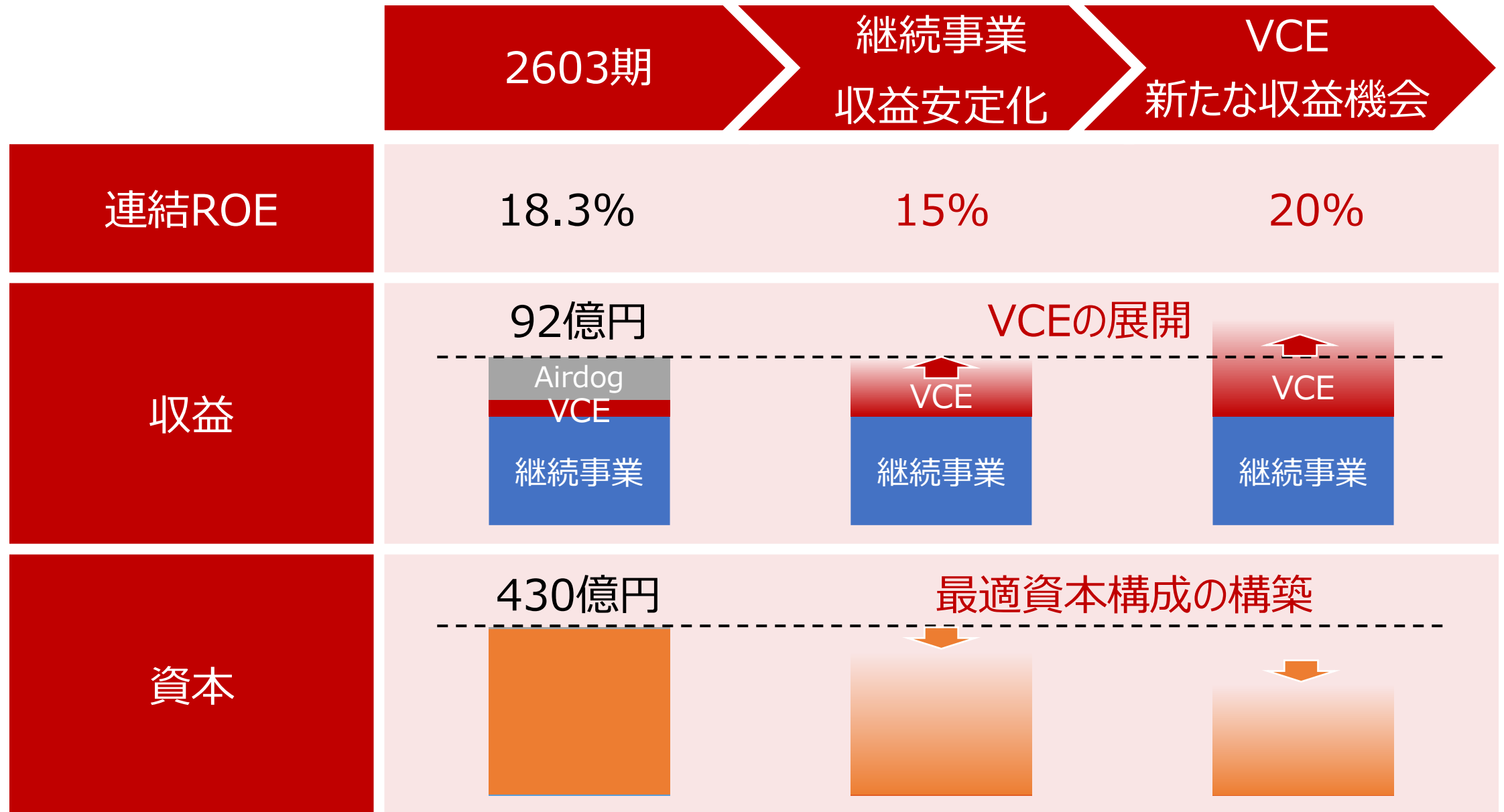


自己株式取得（最大112億円/4百万株）を予定

2026/5/14公表「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」

※株主資本コストはCAPMで推計
 ※ROA = 税引後経常利益 / 総資産
 ※ROIC = 税引後営業利益 / (純資産 + 有利子負債)
 ※ROE = 当期純利益 / 純資産 (自己資本)
 ※WACC修正値は営業負債の金利をゼロとして算出
 ※グラフの長さはイメージです。

VCEの展開による資本効率の革新



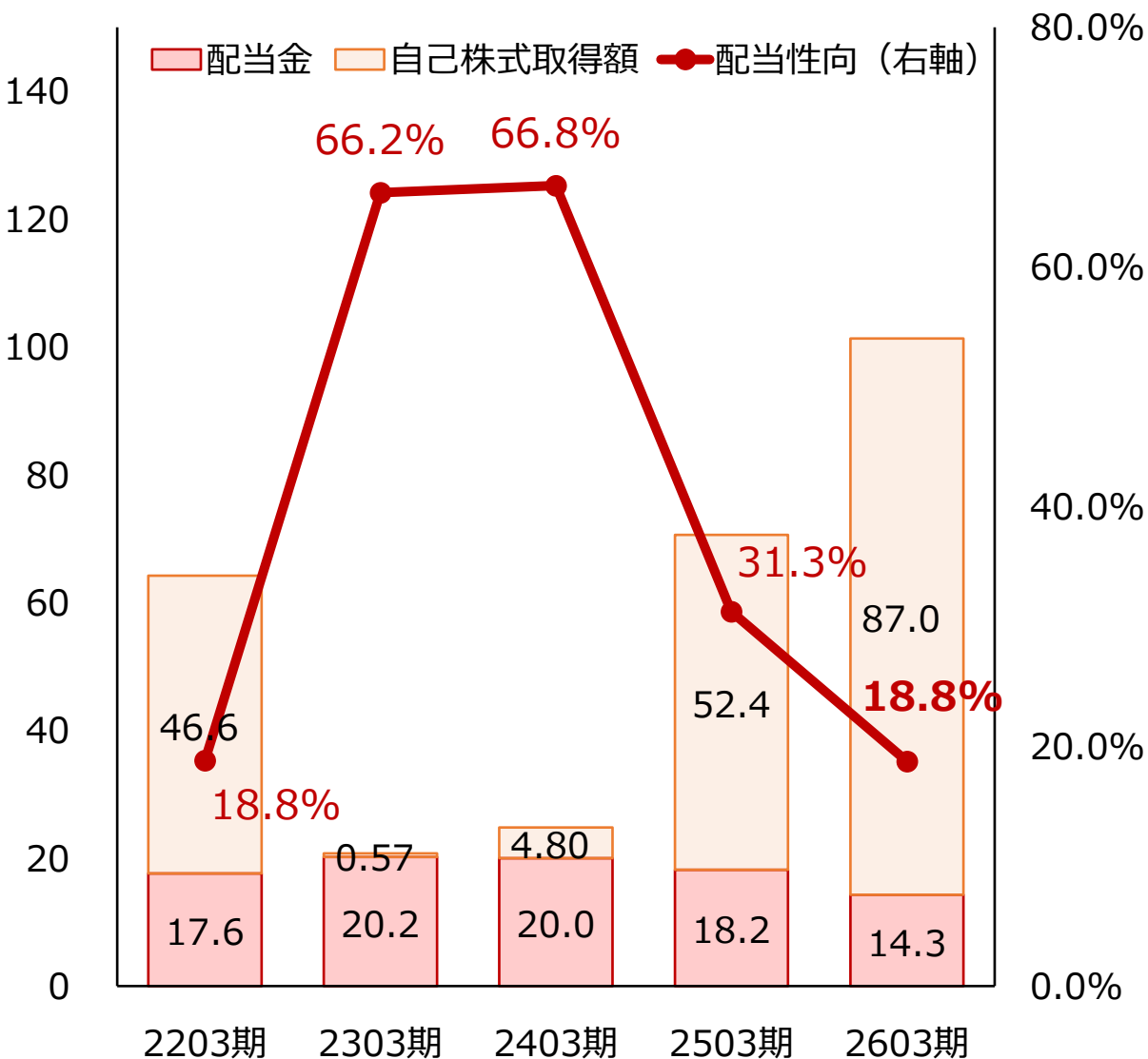
連結配当性向30～40%を目安

安定した配当等の株主還元を目指す

- 持続的な成長と企業価値の最大化、そしてステークホルダーの皆様への分配を掲げ、連結配当性向30～40%を目安とした安定した配当等の株主還元を目指す
- 連結ROE15%以上を目標とし、配当および自己株式取得による株主還元とバランスシートの適正化を図る
- M&A、VCE投資などの成長投資は、積極的に借入金などの外部調達資金を使用

配当金、自己株式取得/消却

(億円)



※シマダヤ株式会社の株式の現物配当（株式分配型スピノフ）は株主還元には反映していません。
 ※億円未満は切り捨てて表示しております。

配当金

- 2026年3月期
年間配当 120円/株 ※株式分割前
(中間60円、期末60円)
- 2027年3月期
年間配当予想 60円/株 ※1:2に株式分割後
(中間30円、期末30円)

自己株式取得

- 2026年3月期実績
取得株式数 340万株
取得価額 87億円
※株式分割前

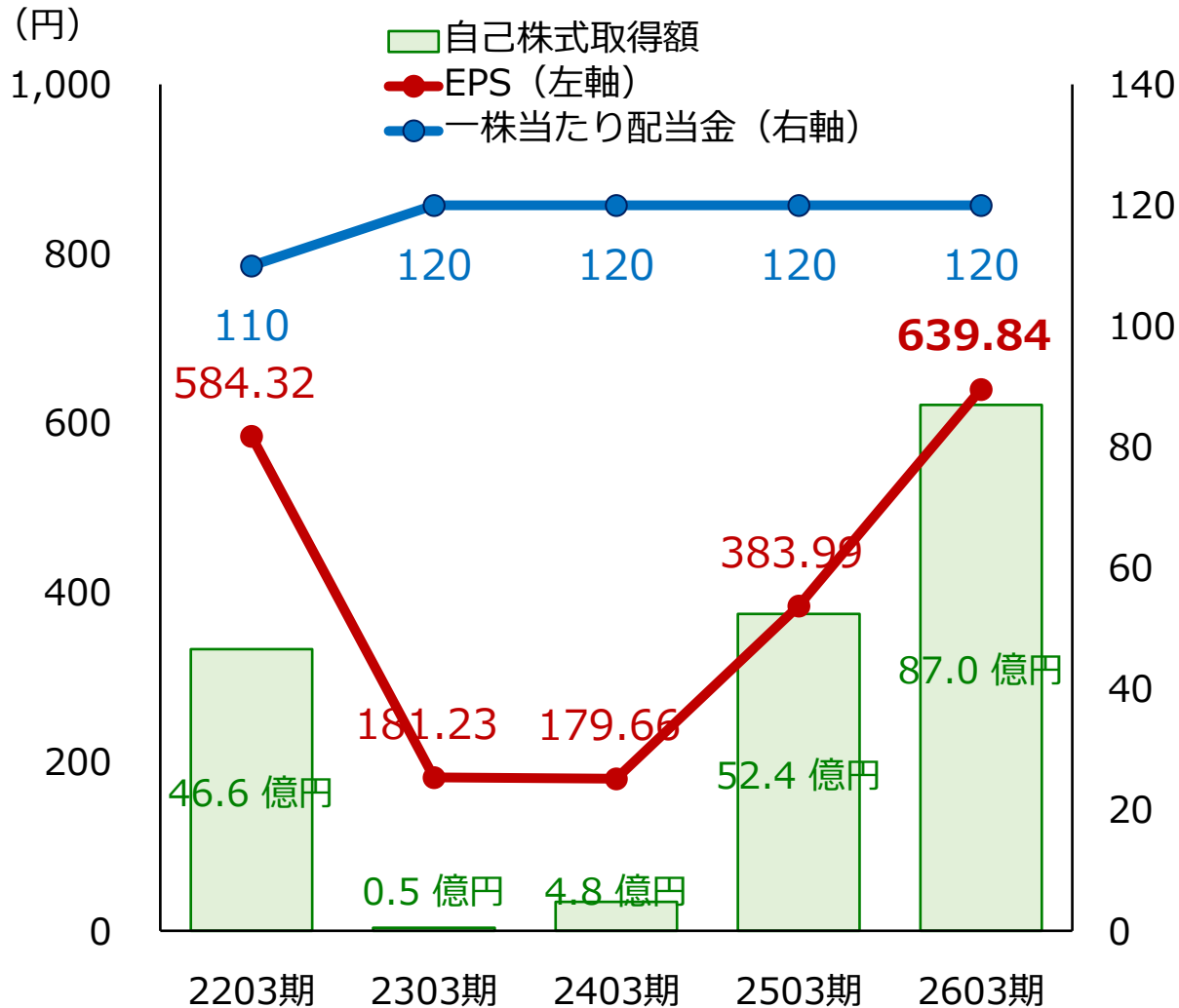
2027年3月期も
最大112億円/4百万株
※株式分割後
を予定

自己株式消却

- 2026年3月期実績
消却株式数 330万株 ※株式分割前

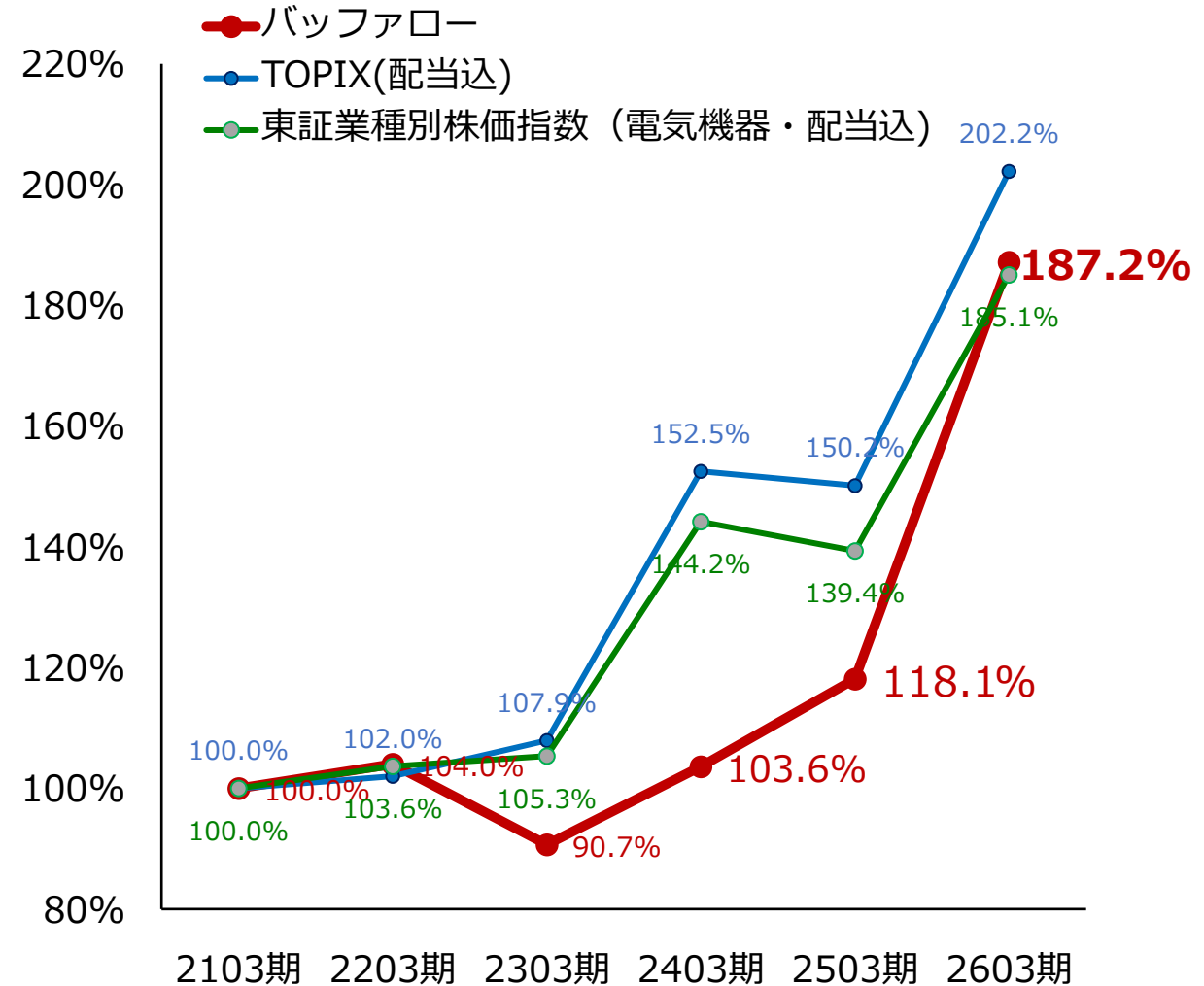
EPS/配当金/自己株式取得額、TSRの推移

EPS/配当金/自己株式取得額



※EPS及び一株当たり配当金は、株式分割前の株式数にて算出。

TSR (株主総利回り)



※2021年3月31日の終値を100とした配当込株価指数

※シマダヤ株式会社の株式の現物配当 (株式分配型スピノフ) 1,880円/株を含む。

※株主優待は除く。

株式分割、株主優待制度の実質拡充

株式分割

- 目的
投資単位当たりの金額を引き下げ、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整備
株式の流動性の向上と投資家層の拡大
- 分割方法
普通株式1株につき、2株の割合をもって分割
- 株式分割前の発行済株式総数
1,200万株
- 株式分割後の発行済株式総数
2,400万株
- 効力発生日
2026年4月1日

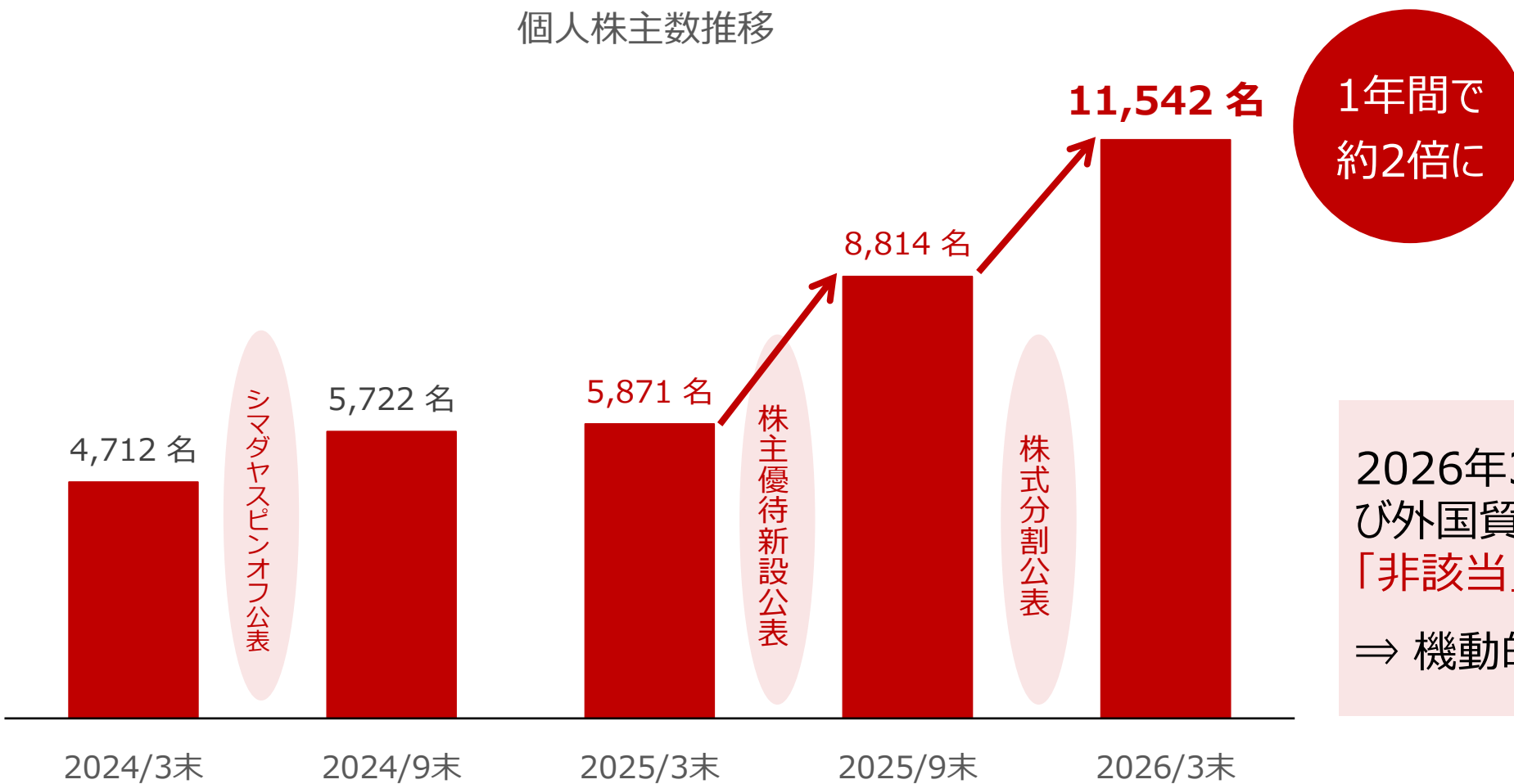
株主優待制度の実質拡充

- 目的
当社商品および事業へのご理解を深めていただく
- 対象となる株主様
左記の株式分割後も変更せず、当社株式を100株（1单元）以上保有の株主様を対象に継続
- 株主優待の内容
毎年3月末日および9月末日の基準日毎に、それぞれ5,000円相当デジタルギフト、または「バッファロー商品セレクション」を進呈
※バッファロー商品セレクション：ピックアップした当社商品（台数限定）
- 拡充の時期
2026年3月末日を基準日とする株主優待より

個人株主数の推移

2026年3月期 株主優待制度の新設、株式分割公表により、
個人株主数が1年間で約2倍に増加

個人株主数推移



2026年3月末時点で、外国為替及び外国貿易法に基づく外国投資家に「非該当」であることを継続

⇒ 機動的なM&A展開が可能

參考資料

PC周辺機器の販売台数シェア

すべてのお客様に感謝を込めて

BCN AWARD 2026
No.1
年間販売数量

BCN AWARD 2026
15部門受賞

販売台数
No.1

BCN AWARD 2026 15部門受賞

無線LAN部門は24年連続、
販売台数シェア1位！
「BCN AWARD 2026」にて15部門を受賞

株式会社BCNによる、全国の手家電量販店の実売データ集計に基づき、パソコン関連商品の年間（1月1日～12月31日）販売台数第1位のメーカーに対して表彰されるものです。



無線LAN部門
24年連続24回目
バッファロー



SSD外付部門
6年連続6回目
バッファロー



HDD外付部門
18年連続23回目
バッファロー



NAS部門
13年連続13回目
バッファロー



USBメモリ部門
6年連続13回目
バッファロー



USB部門
2年連続3回目
バッファロー



カードリーダー部門
4年連続11回目
バッファロー



記録型DVDドライブ
6年連続15回目
バッファロー



LANカード部門
27年連続27回目
バッファロー



HUB部門
25年連続26回目
バッファロー



ルータ部門
23年連続24回目
バッファロー



メモリ部門
15年連続15回目
CFD販売



拡張インターフェース部門
17年連続17回目
CFD販売



PC電源部門
15年連続15回目
CFD販売



ドライブケース部門
16年連続18回目
CFD販売

経済安全保障への対応実績（国内）

「JC-STAR」対応バッファロー商品の拡大

公共機関の情報セキュリティ基準として「JC-STAR」が**官公庁入札仕様**になるケースも

「JC-STAR」対応バッファロー商品の拡大

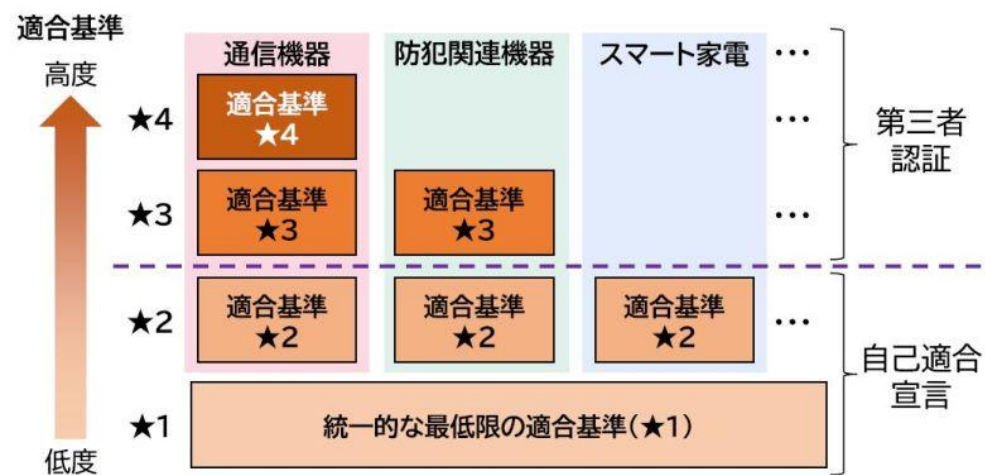
- 法人向けWi-Fi、ルーター、NAS、家庭向けWi-Fi
計56シリーズ158型番 ※2026年3月末現在



「JC-STAR」関連ワーキンググループへの参加

- バッファローは、「JC-STAR」のセキュリティ要件、適合基準、評価手順及び評価ガイダンスなどを作成する業務運営の助言機関である通信機器適合基準検討ワーキンググループに参加。

「JC-STAR」適合基準の分類



経済安全保障への対応実績（海外）

海外においても、当社グループ商品は経済安全保障関連の認証を取得
様々な**公共機関**や**ハイパースケーラー**にて採用

米国

- バックアローのNASは、米国の様々な公共機関で長年にわたり採用。
- サイバーセキュリティにおける堅牢性を有し、暗号モジュールのセキュリティ要件に関する**米国連邦標準規格の認証取得**、**米国貿易協定法に準拠**、**米国国防権限法に準拠**。



暗号モジュールのセキュリティ要件に関する米国連邦標準規格の認証取得



米国貿易協定法に準拠



米国国防権限法に準拠

APAC

- アドバンスデザインの磁気データ消去装置「MagWiper」は、APACで唯一の**NSA（米国家安全保障局）認定商品**。
- 近年、ハイパースケーラーでの「MagWiper」利用が拡大。



ソフト・ハード両面からトータルサポート可能な開発・生産体制により
公共案件でのDXサービス提供、PCの受託生産を展開

農地調査支援サービス「イナリス™」

- デジオンの農地調査支援サービス「イナリス™」が福岡県「宇宙関連ビジネス製品・サービス開発支援事業」に採択。
- 福岡県飯塚市での実証実験にて、農地調査作業時間が81%減。今後、県内複数自治体に対して展開を計画。さらに、森林保全やインフラ監視など他分野への横展開およびサービス拡大を図る。



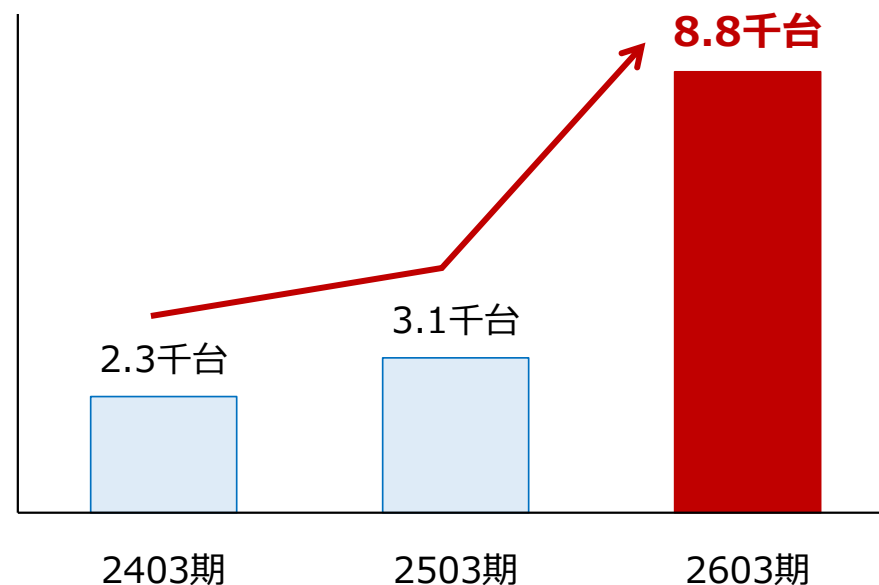
「イナリス™」とは、生成AIによる衛星画像の超解像化技術と農地利用状況解析を組み合わせ、農地調査業務の効率化と標準化を実現するデジオンの支援サービス。

※イナリスは、株式会社デジオンの商標です。

ショップブランドPC

- PCパーツの代理店であるシー・エフ・デー販売にて、ショップブランドPCの受託生産を展開。

ショップブランドPCの当社出荷台数実績



2025年12月から世界水準のアーティストを起用したテレビCMを展開 信頼性のブランドエビデンスの構築を目指す

- ITの退屈を引き受ける「見えない、美学」を掲げ、アーティストの挑戦をITインフラで支えることで信頼のブランドエビデンスの構築を目指す
- 調査では、CM接触により認知度や利便性・技術力・先進性のイメージが向上し、ブランド価値強化に繋がる
- 「企業広告のCM好感度獲得効率ランキング」※では家電メーカーで1位を獲得

※CM総合研究所が実施した「CM好感度調査」より

『ライゾマティクス編』

調査期間：2025年12月20日～2026年1月4日

企業広告199社の中で16位を獲得（上位10%以内、家電メーカー内1位）

『渋谷慶一郎氏編』

調査期間：2026年1月20日～2月4日

企業広告176社の中で14位を獲得（上位10%以内、家電メーカー内1位）

Vol. 1 Rhizomatiks



Vol. 2 渋谷慶一郎氏



Vol. 3 蛭川実花 with EiM



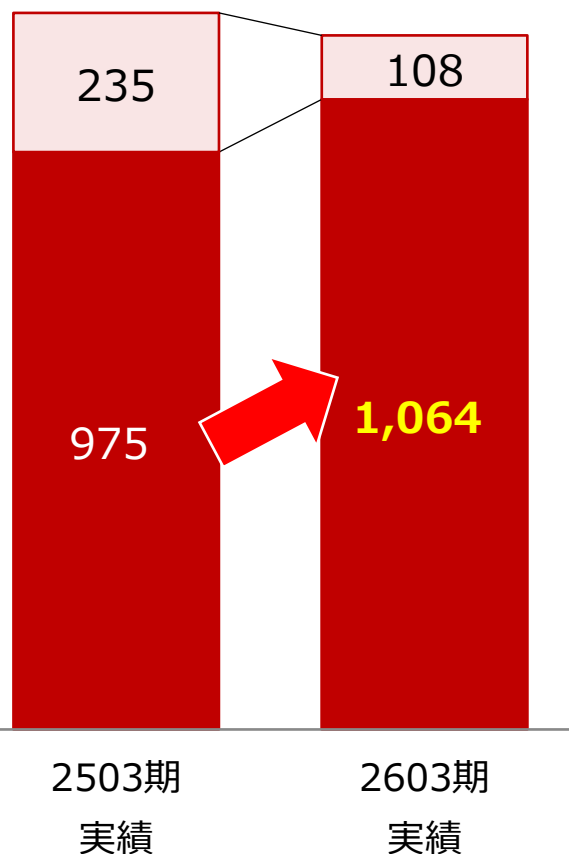
Vol. 4 森江康太氏



連結売上高・連結営業利益（IT関連事業のみ）

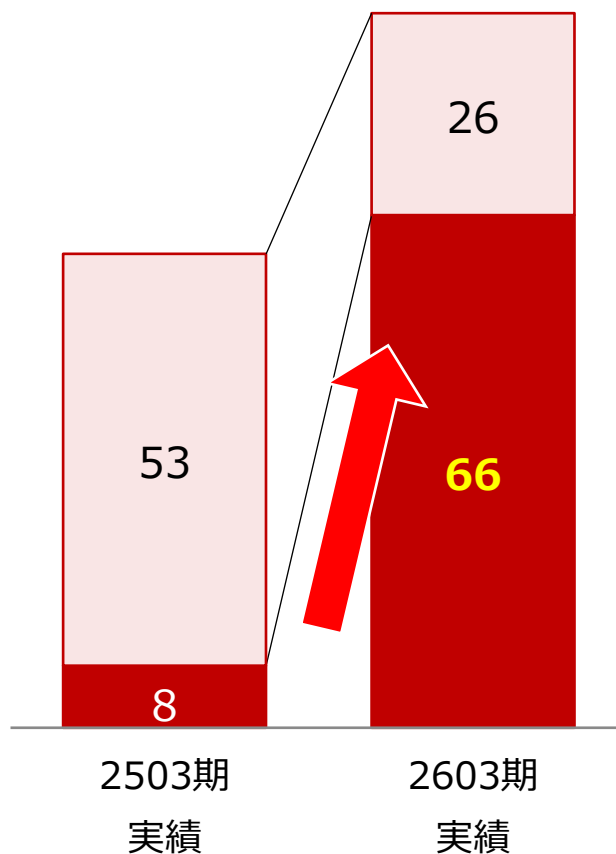
連結売上高

(億円) □ Airdogシリーズ等
■ 継続事業（PC周辺機器）



連結営業利益

(億円) □ Airdogシリーズ等
■ 継続事業（PC周辺機器）



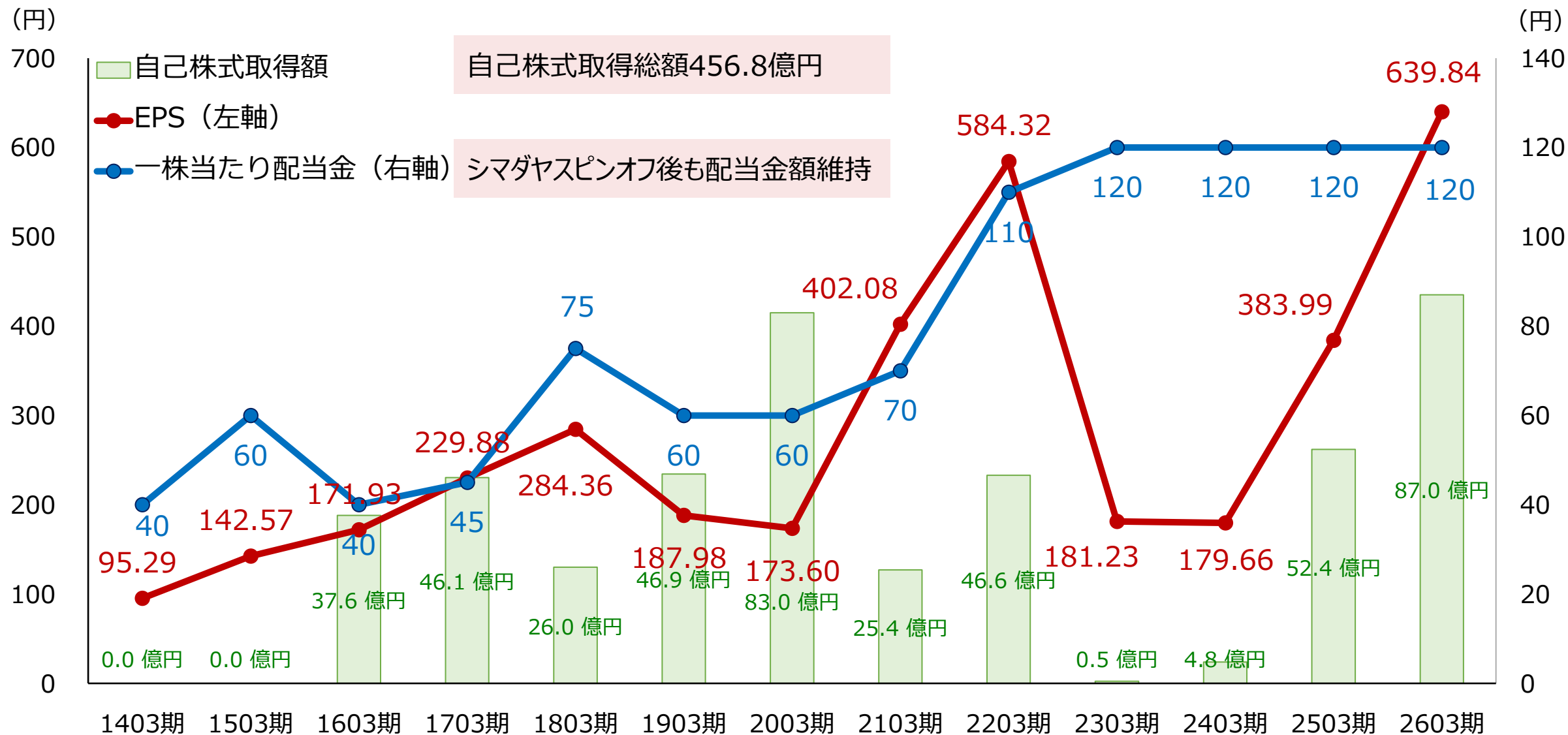
継続事業（PC周辺機器）

- 独自の取組みにより、収益性が大幅に向上
- エンジニアリング・サイクルを活かした当社独自の原価低減活動が進捗
 - 適正な価格設定による販売単価の上昇
 - 為替が想定より円高で推移し、利益面で追い風

Airdogシリーズ等

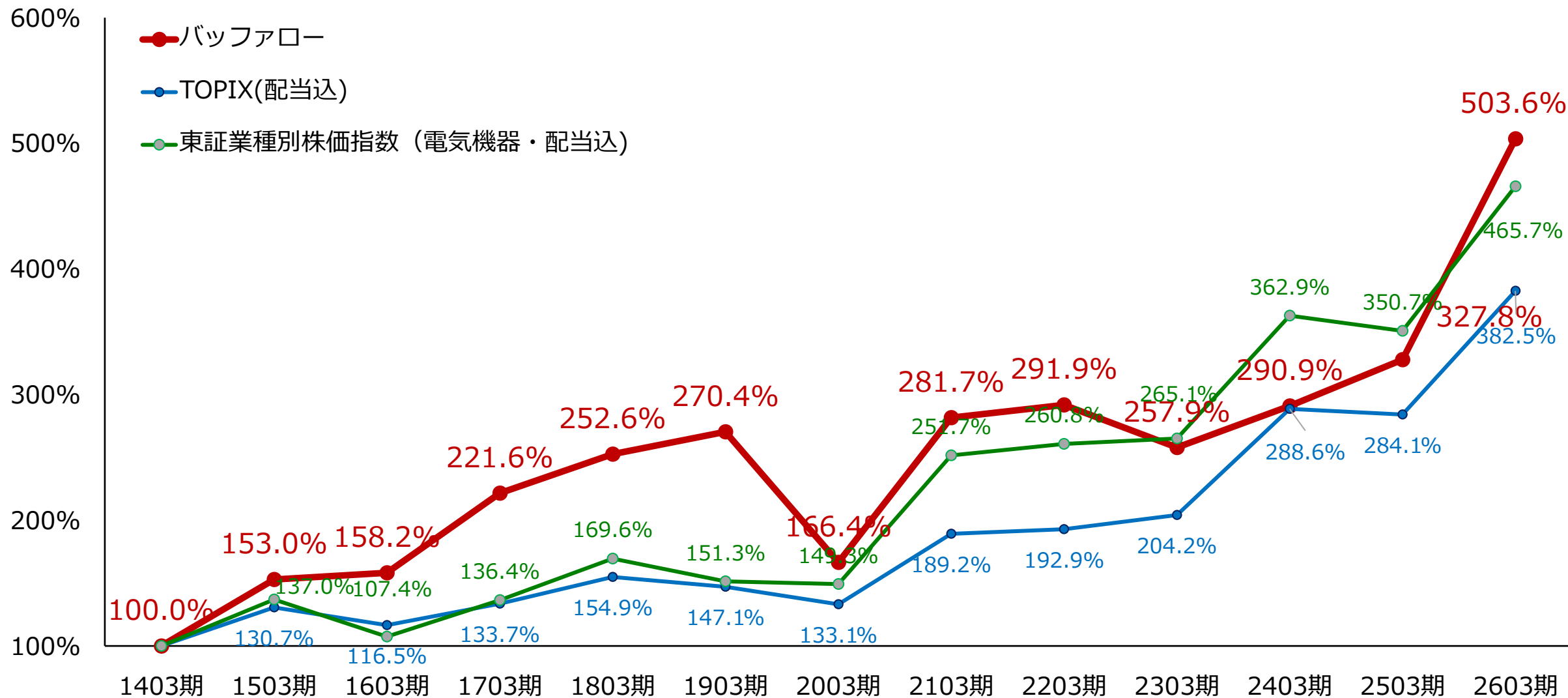
Airdogシリーズの独占販売契約を2025年8月29日を以って終了したため減収減益

EPS/配当金/自己株式取得額の推移（2014年3月期以降）



※EPS及び一株当たり配当金は、株式分割前の株式数にて算出。

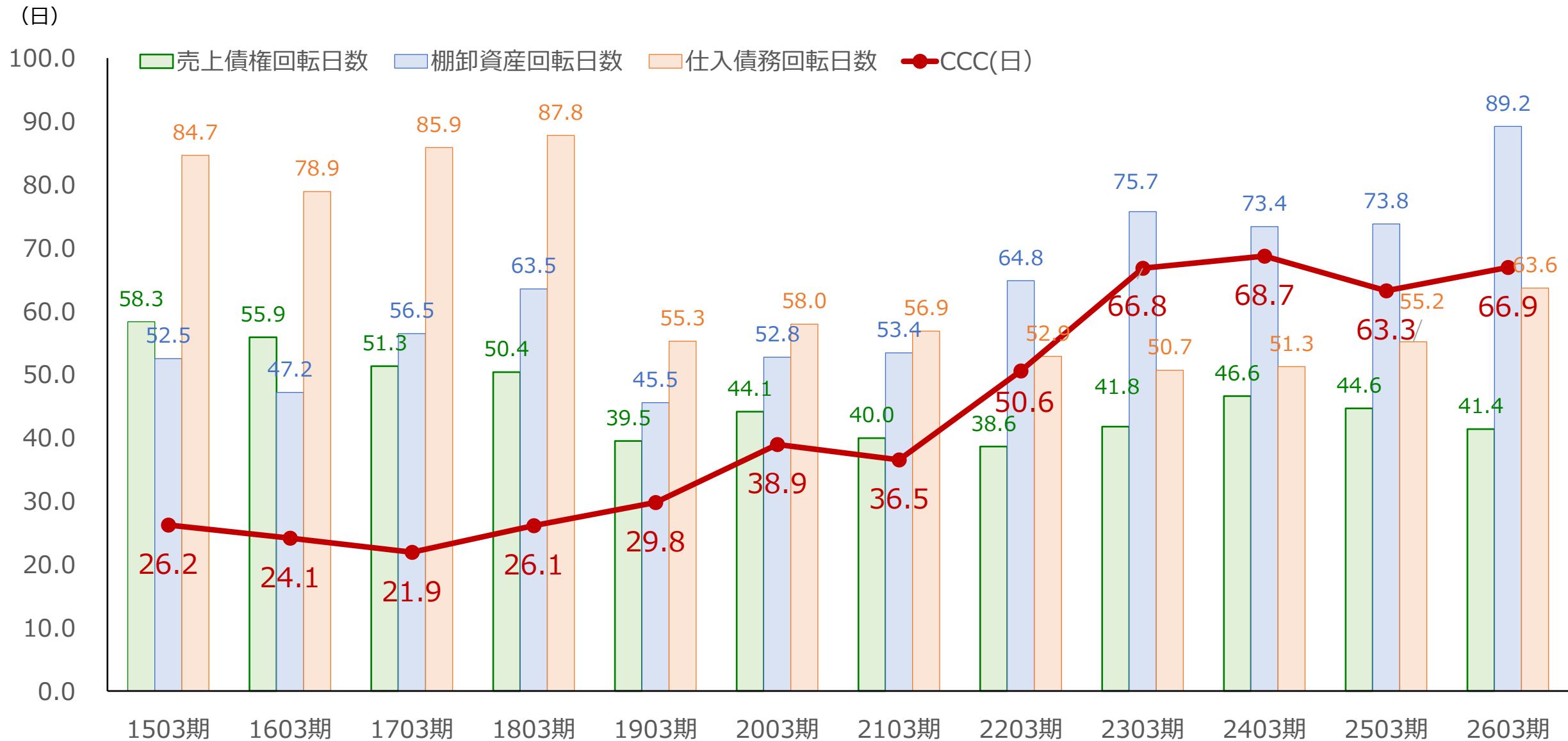
TSR (株主総利回り) の推移 (2014年3月期以降)



※2014年3月31日の終値を100とした配当込株価指数

※シマダヤ株式会社の株式の現物配当 (株式分配型スピノフ) 1,880円/株を含む。株主優待は除く。

キャッシュコンバージョンサイクル 推移



※キャッシュコンバージョンサイクル(CCC) = 売上債権回転期間 + 棚卸資産回転期間 - 仕入債務回転期間

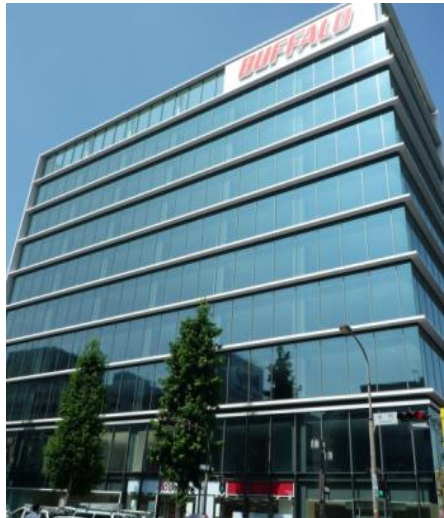
売上債権回転期間 (日) = 売上債権 ÷ 売上高 × 365

棚卸資産回転期間 (日) = 棚卸資産 ÷ 売上原価 × 365

仕入債務回転期間 (日) = 仕入債務 ÷ 売上原価 × 365

会社概要/グループ会社

株式会社 バッファロー



設立	1986年（昭和61年）7月1日
資本金	10億円
従業員数	611名 グループ連結963名（2026年3月末現在）
グループ企業	会社数 12社 / 国内9社、海外3社（2026年3月末現在）
本社所在地	東京本社：東京都千代田区丸の内 名古屋本社：愛知県名古屋市中区大須



グループ会社

 株式会社バッファロー	デジタル家電及びパソコン周辺機器の開発・製造・販売及びデータ復旧サービス	 株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ	ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売、インフラの構築・保守
		 株式会社バイオス	ストレージ関連製品の開発・製造・販売
 シー・エフ・デー販売株式会社	パソコンパーツ及び周辺機器の開発・製造・販売	 アドバンスデザイン株式会社	データ復旧/消去/変換サービス及びデータ消去製品の製造・販売
 株式会社デジオン	ネットワーク・ストレージソフトウェアの開発及び販売	 株式会社DELA	音響機器及び関連製品の開発・販売会社
 株式会社トゥーコネクト	ダイレクトマーケティング事業	[海外] BUFFALO AMERICAS, INC. 他	

免責事項

- 本資料の作成は、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績見通しならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
- そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

＜お問合せ先＞

株式会社バッファロー 社長室

<https://www.buffalo.jp>

E-mail : ir@buffalo.jp

TEL : 050-5830-8865